

「都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト」

「首都圏での中小地震と大地震の発生過程の関係の解明」

平成 26 年度第 2 回（通算第 7 回）検討会・打ち合わせ議事録

日時：2014 年 12 月 23 日（火）13：30－17：30

場所：鴨川ヒルズリゾートホテル会議室

出席者（敬称略）

1. 実施担当者

東京大学地震研究所	教授	佐竹健治
東京大学地震研究所	特任研究員	石辺岳男
東京大学地震研究所	特任研究員	村岸 純
東京大学地震研究所	特任研究員	鳴橋竜太郎

2. 業務協力者

統計数理研究所	名誉教授	尾形良彦
東京大学地震研究所	准教授	酒井慎一
東京大学地震研究所	准教授	鶴岡 弘
名古屋大学	准教授	山中佳子
深田地質研究所	研究員	都司嘉宣
東京大学史料編纂所	教授	榎原雅治
新潟大学	教授	矢田俊文
専修大学	教授	熊木洋太
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	主任研究員	藤原 治
伊東市教育委員会	主幹	金子浩之
東電設計株式会社		中村亮一

3. オブザーバー等

東京大学地震研究所	教授	平田 直
-----------	----	------

【議事次第】

13:30 開会

13:30 - 13:35 開会の挨拶

プロジェクト代表 平田 直 (東京大学地震研究所)

座長：課題代表 佐竹 健治 (東京大学地震研究所)

13:35 - 14:05 【話題提供】「1855年安政江戸地震に関する千葉県域の史料」

村岸 純 (東京大学地震研究所)

(発表 20分, 質疑応答 10分)

14:05 - 14:35 【話題提供】「安政江戸地震の震度分布の再現性—三次元減衰構造を考慮した統計的グリーン関数による評価」

(発表 20分, 質疑応答 10分)

中村 亮一 (東電設計株式会社)

14:35 - 15:05 【話題提供】「被害数から見て安政江戸地震は近世近代に都市直下で起きた越後三条地震(1828)、北丹後地震(1927)、福井地震 (1948)等のどれに似ているか？」

(発表 20分, 質疑応答 10分)

都司 嘉宣 (深田地質研究所)

15:05 - 15:20 休憩

15:20 - 15:50 【話題提供】「鎌倉大日記と会津只見寛文以来万年代記—1495年明応関東地震、1683年日光地震、1710年会津南山地震—」

(発表 20分, 質疑応答 10分)

矢田 俊文 (新潟大学)

15:50 - 16:10 【話題提供】「巡検概要説明」

(発表 20分)

村岸 純 (東京大学地震研究所)

16:10 - 16:30 休憩

16:30 - 17:25 ビジネスミーティング

(1) 平成26年度成果報告書に向けて (平成26年度実施内容報告)

(2) 平成27年度業務計画について

(3) 安政江戸地震の地震像解明に向けて

17:25 - 17:30 閉会の挨拶

課題代表 佐竹 健治 (東京大学地震研究所)

17:30 閉会